

コーチング学研究法Ⅲ

授業形態 講義

単位数 1単位 担当教員 浅井武、朝岡正雄、岡村泰斗、岡田弘隆、尾縣貢、加藤澤男、河合季信、香田郡秀、小俣幸嗣、佐野淳、中川昭、長谷川聖修、都沢凡夫、宮下憲、渡辺良夫、森俊男、山田幸雄 Asai, Takeshi, Asaoka Masao, Okamura Taito, Okada Hirotaka, Ogata Mitsugi, Katou Sawao, Kawai Toshinobu, Kouda Kunihide, Komata Kouji, Sano Atsushi, Nakagawa Akira, Hasegawa Kiyonao, Miyakozawa Tadao, Miyashita Ken, Watanabe Yoshio, Mori Toshio, Yamada Yukio

授業時間 1学期 月曜日 5・6時限 研究室 内線6339

標準履修年次 2年次 オフィスアワー 月曜日 15時15分～18時00分

教育目標との関連

コーチング学に関する実務能力と高度研究能力を兼ね備えた実務型博士の養成を目指し、学生が自立して高度研究活動を実践できるように、博士論文・学術論文の執筆について学習する。

授業の達成目標

- 1) 博士論文の構成（序論・先行研究・研究方法・結果・考察・結論）について、その役割、まとめ方及び留意点を理解できる。
- 2) 博士論文の執筆体裁（図・表、注、引用文献、巻末資料）について理解する。
- 3) 論理的な文章の組み立てを理解し、作文できるようになる。

授業概要

博士論文の章ごとに授業を展開し、それぞれの章のまとめ方等を学習する。

学習目標

博士論文の構成及び章立てとそれぞれの役割、まとめ方及び留意点を理解するとともに、図・表、脚注、引用文献、巻末資料などの執筆方法を理解する。

参考図書

- 1) American Psychological Association: Publication Manual of the American Psychological Association, Washington, DC
- 2) Tomas R. J. and Nelson K. J.: Research Methods in Physical Activity, Human Kinetics, IL

評価方法

出席、授業における理解度、活発な討論によって総合的に評価する

履修条件

コーチング学研究法Ⅰ、コーチング学研究法Ⅱの単位を取得していること

受講生に望むこと

本授業に関連する基礎的な知識を有すること

欠席した場合の処置

特別な理由なく、遅刻、途中退席は認めない

学会出席などやむを得ず欠席する場合は、研究指導教員の自筆署名のある「理由書」を提出すること。授業担当教員が「やむを得ない欠席」と認めた場合には、授業担当教員が提示する課題に対応したレポート提出とその内容によって出席とみなすことがある。

授業計画

回	担当教員	授 業 内 容	キーワード
1	朝岡正雄	博士論文の全体概要	博士論文、執筆手順
2	尾縣 貢	博士論文の構成	序論、先行研究、研究方法、結果、考察、結論
3	尾縣 貢	序論、先行研究の書き方	研究の意義、研究の目的、研究の限界・範囲、操作的定義、 文献、
4	尾縣 貢	研究方法の書き方	研究デザイン、被験者、測定方法、調査手順、統計処理
5	岡村泰斗	結果、考察、結論の書き方	統計結果、考察、結論、今後の課題、現場への示唆
6	岡村泰斗	博士論文の執筆規則	体裁、図・表、引用文献、巻末資料、謝辞、製本
7 ~10	浅井 武 朝岡正雄 岡村泰斗 岡田弘隆 尾縣 貢 加藤澤男 河合季信 香田郡秀 小俣幸嗣 佐野 淳 中川 昭 長谷川聖修 都沢凡夫 宮下 憲 渡辺良夫 森俊 男 山田幸雄	アドバイザーコミッティによる 個別の論文執筆指導	
